



Upside Japan  
THE TECH INSIDER www.upsidejapan.com

！ホーム！UPSIDEについて！UpsideToday米国版！

！コラム！ビジネスモデル！注目の企業！キーパーソン！業界動向！アジア最新ニュース！ITな暮らし！



### 注目記事

- ・MSNが音楽配信サービスに参入!
- ・ネットのコンテンツで金は取れるのか?
- ・マイクロソフトがトランスメタと提携!
- ・iモードがアメリカにやってくる!
- ・ハイテク株よ、底の底まで落ちてくれ
- ・略語の山に埋もれたB2Bマーケット



デジタル用語辞典:

検索



Upside Japan / コラム

## 韓国人学生にせがまれDVD鑑賞 中村伊知哉@LANTIC【第28回】

2001年3月5日

ニューヨークにて:  
“つながる”と“つながっている”の大きな違い

AOLの**ボブ・ピットマン**が言う。ナローバンドからブロードバンドに移行するよりも、ダイヤルアップから常時接続に移る意味の方が大きい。正しい。

速度は程度の問題。ダイヤルアップと常時接続は断層的な質的变化、ないしは正反対の思想。従量課金は利用を抑制する装置。常時接続は、使うほど有利になるから、利用を推進する装置。

PC常時接続からケータイ、ウェアラブル、ユビキタスへの進展もまた断層的な変化だ。それは、**いつでもつながる**、から、**いつもつながっている**、への転換だ。

覚醒している間、いや眠っている間も、いつもスイッチオンでオンラインに生きる。恋人がいるというのと、結婚している、ぐらいの違いか。たとえになってない。

ボブ・ピットマン: Robert W. Pittman, AOLの社長兼COOを経て、現在はAOLタイムワーナーの共同COOを務める。

京都にて:  
テレビとの双方向コミュニケーションはいかに?

シャープからバーチャル・ミュージアムの館長を頼まれたついでに、テレビとはどういうつきあい方をしているかと尋ねられた。正面から聞かれると、照れるな。肉体関係と告白する訳にもいかんし。

ただ、インタラクティブテレビのことは教えておいた。テレビドラマ相手に「そうやわかるでその気持ち」とか「何ゆうてんねんこのドアホ」とか、サシで溶け込むのだ。家族からあきれられながらテレビと一体化していく瞬間、これは腐敗していくリンゴの気持ちであろう、リンゴの気持ちはよくわかる。

自動販売機やキャッシュディスペンサーがしゃべるのは日本だけだろうか。いらっしやいませ、ありがとう、を機械クンに言われると、ロクに目も合わせられない無礼な若者を彼に弟子入りさせたくなる。

ごめんください、どなたですか、**桑原和男**と申します、お入り下さい、ありがとう。

桑原和男: 関西人なら誰でも知ってるが、関東では誰も知らない吉本芸人の代表格。'92年には上方お笑い大賞(読売テレビ)の金賞も受賞してはります。

バリからボストンにて: 技術を情念で消化せよ!

ビジネススクールのeビジネスコースの人气が落ちている。代わりにコンサルティングのコースが急上昇している。「学生は柔軟でシビアだ」とビジネススクールの教授が言う。

それは違う。不確かな時代を読む目を養うことを教えるのが学校で、それを養うのが学生だ。eビジネスやコンサルのノウハウを習うのはその補足。学校も学生も短期的な浮き沈みにフラフラしてちゃ困る。



MITメディアラボの韓国人学生にせがまれて、**フリクリ**という名のガイナックスのDVD4本を東京で買ってきたので一緒にVol.1だけ見たんだが、構成力といい映像制作力といい世界最高だ。

オタク師匠、公取の松本修氏にあればテレビじゃなくてセルDVDだと教えて頂いて驚いた次第だが、このクラスの力量をちゃんとほめて世界に発信することを政府にやってもらいたい。松本さんの力量じゃなくてフリクリのこと。

CATVで、ブルー・サブマリンNo6をオンエアしている。**「青の6号」**だ。クオリティからして、劇場用映画をテレビにかけてるんだろうが、いや見事。3年ほど前、3DCGテレビアニメの**ピーストウォーズ**をテレビ東京で見たときには、アニメもアメリカの技術に駆逐されてしまうのかと愕然としたが、その愕然は訂正。

やはり技術なんてのは、導入までのタイムラグを除き、買ってきて消化すればかまわないものであって、問題は、それを消化する表現者の**血の情念**である。それはまだ日本に熱くたぎっているはずだ。

フリクリ:ガイナックスの制作によるオリジナルアニメ。約2ヵ月ごとにビデオとDVDを同時発売し、全6巻で完結するという独特の発表形態を取っている。最新回の第5巻は12月21日に発売されたばかりで、最終話となる第6巻のみ、2001年3月16日と間を置いて発売される予定。公式サイトは<http://www.gainax.co.jp/flcl/>。

青の6号:バンダイビジュアルが制作したフルデジタルによるアニメーション作品。公式サイトは<http://emotion.bandai.co.jp/ao6/>。

ピーストウォーズ:玩具メーカーのタカラと米玩具大手のハズブロが共同で制作したアニメシリーズ。テレビアニメに続いて制作されたCG版は、全編が日本で制作されている。

ちなみに“燃える情念”といえば、石川雄規。相手の片足を逆エビに固めつつ、自分の片足を使って相手の片腕も決めてしまうのが情念固め。

## ブエノスアイレスにて:通貨を捨て去る潔さがコワイ

この国は、自国通貨を米ドルと完全に連動させてしまった。1ドル=1ペソ。アメリカにとってはリスク押しつけられてるだけで、迷惑な話だ。「そんなカタイこと言いなはん」的にしなだれかかる大胆さ。通貨は軍事と並ぶ国家の構成要素。それを放棄してニヤニヤできる不敵さ。

ドルとペソを差別なく消化する胃袋も強靱だ。日本はデノミしたところで、サイフの中に福沢諭吉とジョージ・ワシントンをまぜこぜにして使うことは気が引けてできないだろうなあ。いや、彼らのように、やってみればその日から違和感なくできるのかも知れない。

ちなみにメキシコの通貨もペソだが、この表記が米ドルと同じ“\$”を使っているから紛らわしい。“\$”と書いてあるので米ドル払いかと思って米ドルを出すと、実はペソ払いなので多く出しすぎたというケースが多い(ちなみに1ペソは約12円なので、米ドルとは10倍近い開きがある)。

## 東京にて:デジタル革命の300年後を想う

グーテンベルクによって、聖書ができて宗教改革が起きてドイツ語が整って近代国家が生まれた。それから、文字が普及して黙読が定着して内面を見つめるようになって資本主義が生まれた。TBS取締役の前川さんからそう聞いた。

発明時点で、3世紀後の新パラダイムを見通す想像力は誰にもなかっただろう。いまのデジタルやネットワークを革命などと言うが、革命たるからには数世代後を見通して行動したい。それが2.26事件の青年将校の教訓だ。

しかし、まだ誰もその行方を空想すらできていない。いま必要なのは、やみくもなビジョンである。

## ラスベガスからマイアミにて:革命はこれからだ!

「IT革命はもう終わった」。ある市場関係者の言葉だ。なるほどな。ネットバブルはじけたらもう革命は終わりなんだな。けっ、チョロい革命だぜ。しかしバブルはじけてITが安くなったら、ITが産業に入り込んで、やっとな革命が始まる。

でもホントの革命は、社会生活レベルに溶け込んだ後、脳のOSレベルに達するころのことで、それはまだ50年ぐらいかかるんじゃないかな。

ところでマイアミといえば六本木である。イナカ者には憧れであった。郵政省の同期で、派遣先のパナマで事故に遭い、いまアメリカでリハビリ中の木越君が、就職で大阪から東京に出てきたとき、六本木で落ち合い、その一声が、「おおっ、マイアミ、やんけ」だったことを忘れない。

東京のマイアミは24時間営業が多い。深夜はコーヒーの値段が跳ね上がるので注意。ちなみに運営は(株)山根東京本社で、本店は東京駅地下名店街にある。

## 中村伊知哉 プロフィール



マサチューセッツ工科大学 客員教授  
'61年生、京都市出身。京都大学経済学部卒。

在学中はロックバンド“少年ナイフ”のディレクターで活躍。  
'84年、郵政省入省。'93年からパリに駐在し、'95年に帰国後は郵政大臣官房総務課課長補佐を務める。'98年、郵政省を退官し、(株)CSK特別顧問に就任。同年、マサチューセッツ工科大学 客員教授に就任。

著書に『インターネット,自由を我等に』（アスキー出版局）などがある。趣味は、ずばり“メディア”。

ホームページ：<http://www.media.mit.edu/~ichiya/jpn.htm>

(C)Hajime Anzai

▶ [中村伊知哉@LANTIC【連載リスト】](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

▶ [ルール美術館のカフェにて想う\(2月19日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

(<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

▶ [憧れのプエノスアイレス\(1月29日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

▶ [ある一ヶ月間のドタバタ日記\(12月28日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

▶ [かぞえ直しが続くあいだに\(11月28日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

▶ [オレの声が聞こえたか高橋\(10月25日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

▶ [カッコワリーってモンダガ\(10月4日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

▶ [Re率となんじゃこりゃ度\(9月25日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

(中村伊知哉)

‡ ASCII24 ‡ ASCII24 Business Center ‡ 日刊アスキー Linux ‡ アスキーデジタル用語辞典 ‡  
‡ auto-ASCII24 ‡ Shes.net ‡ ASCII Job Serve. ‡ アスキートップ ‡

‡ [個人情報の取扱について](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) ‡ [編集部へのコンタクト](mailto:info@upsidejapan.com)([info@upsidejapan.com](mailto:info@upsidejapan.com)) ‡ [広告掲載のご案内](#) ‡

Copyright (C)1993-2000 Upside Media Inc.  
Copyright (C)2000 ASCII Corporation.  
All rights reserved.